

分類：臨床医学Ⅱ

授業科目名：乳房（The Breasts）

対象学年：3年次必修

時間割コード：71633013

開設学期等：第32週～第36週（毎週火曜日1-4時限）

単位数：0.5

1. 主任教員

南谷佳弘（教授、胸部外科学講座、6127）

2. 担当教員

南谷佳弘（教授、胸部外科学講座、6127）

寺田かおり（講師、乳腺・内分泌外科、6132）

高橋絵梨子（助教、乳腺・内分泌外科、6132）

片寄喜久（非常勤講師、市立秋田総合病院 乳腺・内分泌外科）

3. 授業のねらい及び概要（学修目標）

- ・乳房の構造と機能を説明できる。
- ・成長発達に伴う乳房の変化を説明できる。
- ・乳汁分泌に関するホルモンの作用を説明できる。
- ・乳房腫瘍の画像診断（乳房撮影、超音波検査、CT）および細胞・組織診断法を概説できる。
- ・乳房腫瘍、異常乳汁分泌と乳房の膨脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。
- ・良性乳腺疾患の種類を列挙できる。
- ・乳癌の危険因子、症候、診断、治療と予後を説明できる。

4. 教科書・参考書

標準外科学（医学書院）など、その他
プリント・資料を配布する。

5. 成績評価の方法

出席状況、形成試験、統一試験にて評価する。

6. 授業時間外の学習内容・その他・メッセージ

配布プリントを参考に復習してください。

講義内容・具体的到達目標・学修目標						
	開講月日	時限	授業形式	講義内容・具体的到達目標・学修目標	担当教員	場所
1	1月9日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：乳房の解剖・乳房の生理 学修目標：乳房の構造と機能を理解する。	高橋絵梨子	医学系研究棟 総6講
2	1月9日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：「蝕視診法、画像検査」、「病理、炎症性疾患・良性疾患」 学修目標： 1) 検査と診断の基本を理解し、画像診断について概説できる。 2) 乳房腫瘍の細胞・組織診断法を理解する。 3) 乳房腫瘍、異常乳汁分泌（血性乳頭分泌）と乳房の腫脹・疼痛・変形をきたす主な病因を列挙できる。 4) 良性乳腺疾患の種類を列挙できる。	高橋絵梨子	医学系研究棟 総6講
3	1月16日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：乳癌のバイオロジー・治療、総論 乳癌の自然史、細胞の増殖・進展、ホルモン受容体について理解する。	寺田かおり	医学系研究棟 総6講
4	1月16日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：乳癌の治療（外科・内科・その他） 学修目標：乳癌の危険因子、症候、診断、治療と予後について理解する。	寺田かおり	医学系研究棟 総6講
5	1月23日 (火)	1-2 時限	講義	テーマ：乳癌臨床診療の実際	片寄喜久	医学系研究棟 総6講
6	1月23日 (火)	3-4 時限	講義	テーマ：乳癌診療のトピックス	片寄喜久	医学系研究棟 総6講
7	1月30日 (火)	1-2 時限	形成評価	テーマ：形成試験	寺田かおり	医学系研究棟 総6講
8	1月30日 (火)	3-4 時限	形成評価	テーマ：問題解説	寺田かおり	医学系研究棟 総6講